

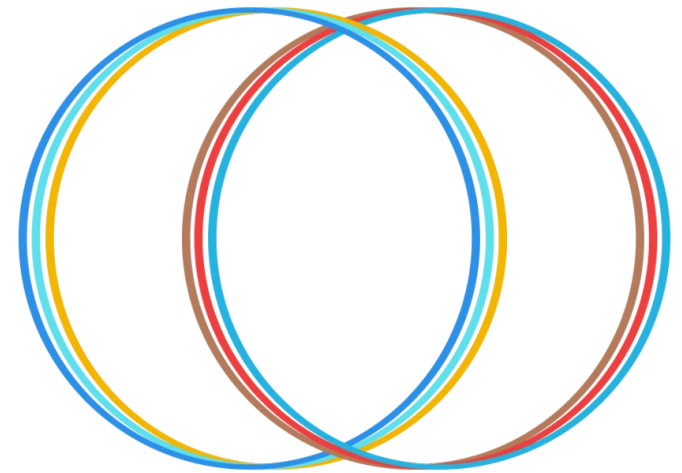
資料 1

マイナウォレット株式会社
代表取締役 橘博之氏提出資料



マイナンバーカード x Web3

活用事例のご紹介



マイナウォレット株式会社
代表取締役 橘 博之

マイナウォレット - マイナンバーカードだけで誰もが Web3 サービスを自由に使える



サービス概要

- ・マイナウォレットは、マイナンバーカードそのものを Web3 ウォレットにするサービス
- ・子どもからお年寄りまで、誰もが複雑な操作や技術を意識せず Web3 サービスにアクセスすることを実現
- ・公的個人認証サービスを活用することで最高位の本人確認を実現し、一人につき一アカウントを保証することで強力な不正対策が可能

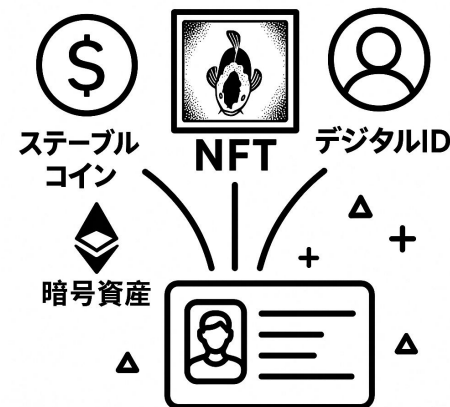
マイナンバーカードだけで誰もが Web3 の世界へアクセス

マイナンバーカードだけで

- ・NFT を受け取ることができる
- ・ステーブルコイン等のチャージや決済ができる
- ・VC* を使って、属性証明ができる

アプリを使うことで

- ・NFT、ステーブルコイン、暗号資産、VC を一元管理できる
- ・多様なデジタル資産による決済や個人間送金ができる
- ・各種 Web3 サービスへアクセスできる



ユースケース

イベントでの NFT 受け取り



マイナンバーカードを活用した本人確認にあわせて、NFT を配布することが可能。
(山古志地域で行われた「牛の角突き」イベントで実際に配布された参加記念 NFT の画像)

利用者情報のチェック



公的個人認証サービスと NFT や VC を組み合わせることで、施設利用時等において、身元確認に加え、属性データもあわせてチェックが可能。

マイナンバーカードでタッチ決済



マイナンバーカードの「かざし利用」で店頭でのタッチ決済を実現。
公的個人認証サービスを活用して「住民限定割引」を安心して提供可能。

デジタル通貨の個人間送金



アプリを使って、ステーブルコイン、デジタル地域通貨、暗号資産、NFT を自由に個人間で送受信し合うことが可能。

山古志地域でのマイナンバーカードを活用したステーブルコインのタッチ決済



実証実験の内容

- ・2024年10月、新潟県長岡市山古志地域にて実証実験を実施
- ・地域住民とネオ山古志村デジタル村民の皆様の協力の元、スマートフォンアプリを操作することなくマイナンバーカードをタッチするだけで利用登録・チャージ・お買い物でのお支払いが行える体験会を開催
- ・体験会には小学生～80歳代の方々が参加し、ステーブルコイン決済でアイスクリームの購入などを体験



マイナンバーカードだけで利用登録
ステーブルコインをチャージする様子



マイナンバーカードの「かざし利用」
ステーブルコインのタッチ決済の様子



平デジタル大臣の視察
チャージ・決済の体験の様子

参加者の声、結果

- ・「想像していたよりずっとスムーズにできた！」「普通にできてしまって拍子抜けした」「(良い意味で)逆に驚きがなかった！」という声が多く手応えを感じた
- ・2024年11月には平デジタル大臣にも視察していただき「早い。ほとんど交通系と一緒に」という反応を頂戴した
- ・マイナンバーカードを活用することで、Web3 の複雑な操作や知識を必要とせず、小さなお子さまからお年寄りまで、かんたんにステーブルコインによる決済が行えることを確認した

山古志 DAO について

- ・山古志 DAO は、現地のリアル住民と Nishikigoi NFT を保有するデジタル村民によって構成される仮想的な共同体
- ・住民 720人に対し、デジタル村民 1,800人と倍以上の関係人口を産み、地方創生 2.0 の先駆けとして世界から注目を浴びる
- ・現在は住民とデジタル村民が協力し、空き家活用や新しい学びの環境作り、地域の農業を DAO 的に担う取り組みもスタート
- ・「Local DAO構想」として同様のプロジェクトが各地で構想され、複数の取り組みが始まっている

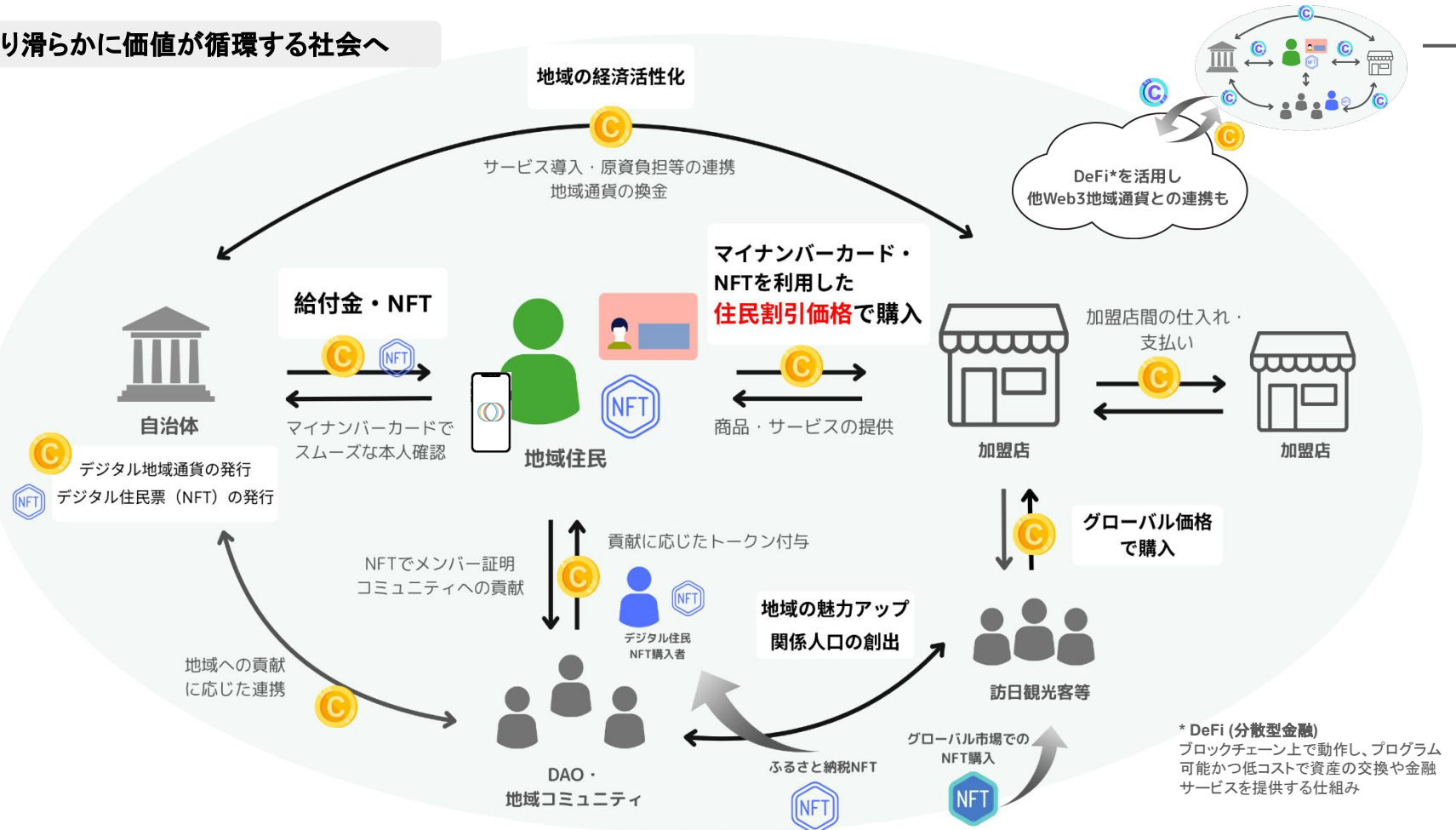
マイナンバーカード × Web3 による地方創生の可能性



すべての人へ届ける

- ・マイナンバーカードを活用することで、地方創生における Web3 利活用のハードルを格段に下げることができる
=> これまではリーチできなかった子どもやスマホに不慣れな方など、より多くの人をターゲットにした施策を打つことができる
- ・公的個人認証サービスを利用することで、厳密な本人確認が可能になり、複数アカウントなどの不正対策も容易になる
=> グローバルな取引・取引の自動化・決済利用等、Web3 が得意とする領域のサービスを、誰もが安心・安全に利用できる

より滑らかに価値が循環する社会へ



今後の取り組み、国への期待



今後の取り組み

- ・福岡市にて、国家戦略特区制度を活用した規制緩和を提案。マイナウォレットを使った実証実験を検討
- ・マイナウォレットアプリの正式リリース
- ・地公体との連携・取り組みを強化し、Web3 社会実装、地方創生に寄与する先行事例を創出
- ・様々な金融機関と連携を行うことで、Web3・既存金融の垣根を超えたイノベーションを促進

国への期待

地公体による Web3 技術利活用を促進するための補助金や助成の仕組み作り

- ・「Web3 ベースの地域通貨の発行」を実施するときのプレミアム分の助成
- ・オーバーツーリズム対策の「住民限定割引」等に活用可能な助成

スタートアップとのコラボレーションの促進

- ・Web3 や AI 等最先端領域へ取り組むスタートアップと地公体とのコラボレーションを促進する助成や補助

グローバル基準でオープンな Web3 の推進

- ・多くの国内ユーザーは、海外のウォレット・Web3 サービスを使っている
- ・現行の法規制では、日本国内事業者はパーミッションレスブロックチェーン*上での事業を行いにくい
- ・消費者保護、AML/CFT の観点からパーミッションレスブロックチェーン上での事業すべてを野放しに許可することも難しい
- ・イノベーションとバランスの取れたレギュレーションを

* パーミッションレスブロックチェーン：管理者の許可（パーミッション）を得ずに誰でもネットワークに参加して取引を検証・承認できるブロックチェーン

マイナウォレット株式会社
info@mynawallet.co.jp